

さくら湖管理ニュース

No. 8
1月
2002年
発行
国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所

所長年頭のあいさつ

新たな気持ちで
地域づくり、情報公開、
ダム管理に邁進しよう

国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所 所長 伊藤 尚敬



あけましておめでとうございます。
新世紀のスタートであった昨年は、予想だに
しなかった米国の同時多発テロ、それにとも
なう、アフガン・タリバン政権の崩壊、イス
ラエルとパレスチナ解放機構との紛争など、
「戦争の世紀」の延長の様な世相であったの
ではないでしょうか。

新世紀といっても、文化や歴史は急には変
化しないとは思いますが、22世紀から見た
時「21世紀は、平和で安定した心豊かな世
界であった」といわれる世紀であってほしい
ものであります。

私達の周りに目を転じてみれば、昨年は大
きな洪水こそありませんでしたが、4月から
6月の渇水対応、リフレッシュ放流の完全実
施、広報誌「さくら湖だより」の月刊発行、
さらに6月から創刊した手作りの広報誌兼所
内報である「さくら湖管理ニュース」も月刊
発行をしてきました。また、資料館には展示
コーナーを設け、毎月内容を変えてイベント
の写真やパネルを展示し11月には46万人
の入場者を迎えることができました。

地域との連携といった点では、7月の「さ
くら湖自然教室」や、11月の「さくら湖自
然環境フォーラム」で地域の皆さんと一緒に
成功させる事が出来たと思います。また、そ
れに引き続き「大滝根川流域勉強会」も2回
開催することが出来ました。これは管理所の
皆が一丸となって、地域やダムの思いを語り、

進めてきたから出来たのではないでしょう
か。また地域の方々や、さくら湖に思いを
寄せて下さる方の協力があった事も忘れ
てはなりません。

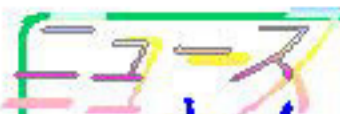
さらに技術研究の点では、堆砂の活用や
水質保全の新たな方向性を見出す事ができ
ました。管理用発電の効率性を追求し、貯
水池管理ではテレビカメラの増設も実現
しました。

こうしてみると私達が志を高く持ち、一
歩一歩皆で努力すれば必ず目標は実現出
来る、ということが証明された様な気がし
ます。小さな組織ですが、やれば出来る
という「自信」を持つことが今後も大切だ
と思います。

管理に入ってから5年目、今年は三春ダ
ムにとって一つの節目ともいえる素晴ら
しい年になりそうです。予算も要望額が
実現出来そうですし、資料館の入場者も
50万人を越すでしょう。流域内の土砂
管理が、地域の人達と一緒に進めて行
ける様になれば、他のダムの大きな見
本になると思われまます。

健康に留意し、夢と自信を持って皆で
力を合わせ守り育てて行きましょう。





さくら湖自然環境フォーラム2001

11月29日～30日、第2回さくら湖自然環境フォーラムが、さくら湖自然観察ステーションにおいて盛大に開催されました。今回は両日で延べ337人の参加者を数え、おおいに賑わいました。

第1日目 平成13年11月29日(木)

フォーラム第1部 (総合司会) さくら湖自然観察ステーション所長 鈴木 武

開会 さくら湖自然環境フォーラム実行委員会会長 三春町長 伊藤 寛 氏

生徒さん達の学習活動についての研究発表、専門家による研究発表、地域についての話題などについて聴講していただくようのご挨拶がありました

研究報告① 「さくら湖に流れる牛糞川の水生物から見た水質」

三春町立中郷小学校6年生のみなさん

さくら湖に流入する牛糞川の水生物調査と、
昨年の調査と照らし合わせた汚濁進行状況について報告→



研究報告② 「三春ダム周辺の自然を守るために

～土が教えてくれること～」

三春町立岩江中学校1年 武地達平さん

←さくら湖周辺の土壌調査に関する研究発表。
投棄された金属ゴミなどが、酸性雨による浸食で土壌に対してどのような影響を与えるか？



研究報告③ 「学校の環境学習について」
三春町立桜中学校教諭 山崎昌彦氏

現在学校で行われている環境学習についてのテーマ報告と、
自然の大切さを子供達に理解してもらうよう、
長年続けている通信「やまびこ」の紹介→



研究報告④ 「三春ダム周辺の自然環境と、私達の生活について」
三春町立桜中学校3年生の皆さん

←さくら湖周辺の魚類・水質など自然科学に関する報告と、
ダム完成後の魚類外来種などに関し、新たな視点から
物事を見つめ直す事が大切と提案

三春ダム資料館2階で、写真&パネル展を開催中

第2日目 平成13年11月30日(金)

フォーラム第2部

〈総合司会〉 応用生態工学研究所 三浦義征

基調講演 「さくら湖流域のよりよい水環境をめざして」

東北大学大学院教授・工学博士 野池達也氏



←さくら湖流域の水環境保全に対して、効果の高いと考えられる流域下水道について、また、さくら湖に発生したアオコの除去について日大有志が行った事例の紹介。

研究報告1 「試験湛水にともなう樹木成長の変化について」

応用生態工学研究所 児玉奈美子氏

試験湛水中、法面で生育していた樹木が冠水することによりどのような成長変化をしたかの報告。

研究報告2 「新たな水質保全試験について」

国土交通省三春ダム管理所 加藤 修氏

堤体近辺の集積アオコ放流と、三春ダム支川前貯水池で行った嫌気化防止のための新しい実験の報告。

パネルディスカッション① 「総合学習としての環境教育のすすめかた」

～さくら湖周辺環境の活用のあり方～



〈コーディネーター〉	三春町教育委員会 教育長	前田 昌徳 氏
〈パネリスト〉	応用地質株式会社 代表取締役会長	大矢 唯 氏
	主婦（福島県女性の生涯学習推進員）	日下部 三枝 氏
	主婦（元中学校教諭）	武地 優子 氏
	三春町立三春小学校教頭	富塚 忠夫 氏
	三春町立桜中学校校長	滝田 文夫 氏

←「総合学習」や「生涯学習」の場としてのさくら湖周辺のありかた、学校教育における「環境教育」、体験を通じた人とのつながりの大切さなどについて討論しました。

研究報告③ 「堆積土砂の現況と環境保全対策について」

国土交通省三春ダム管理所 高橋 隆氏

三春ダム本川前貯水池に堆積している土砂についての、物理的性質や活用方法などに関する研究報告。

研究報告4 「環境保全対策としてのダム下流への土砂供給について」

応用生態工学研究所 斉藤 大氏

三春ダム下流で行っている土砂供給実験に関する研究報告。河床低下の実状などの発表。

パネルディスカッション② 「ダム完成後の環境保全と堆積土砂の地域活用について」

〈コーディネーター〉	東北大学大学院教授	野池 達也 氏
〈パネリスト〉	福島県農業試験場 農芸化学部長	菅野 忠敬 氏
	地域代表（中郷まちづくり協会会長）	森川 英夫 氏
	農業者（農林水産大臣賞受賞者）	大内 昭喜 氏
	国土交通省三春ダム管理所 所長	伊藤 尚敬 氏

ブラックバス対策、リフレッシュ放流による魚類に対しての下流環境変化、堆積土砂を用いた農地活用の可能性、作付けの種類による適性などについて討論→



閉会 さくら湖自然環境フォーラム実行委員会 郡山市長 藤森 英二 氏 代理

「恵み豊かな自然を引き継ぐためには、一人一人の身近な環境保全が必要」

と言うお言葉を持ってフォーラムは閉会しました。

三春ダム管理所2001の主な出来事

- 1月 国土交通省発足
- 4月 渇水時に水供給
好天で月降水量過去最少
- 6月 所内報「さくら湖管理ニュース」創刊
(月1回発行の地域とのコミュニケーション誌)



6月 第2回
みずウォーク2001
三春大会開催
←県内外から1,530人の
家族連れが参加
(写真典は三春滝桜)



6月 リフレッシュ放流
(6/15~10/5)
※阿床に付着した藻なども、維持費
を削減させ放流することによっ
て洗浄します。
←毎秒最大約20トンの水が大滝根川
へ放流されます

- 7月 森と湖に親しむ旬間行事



「さくら湖自然教室」
開催

←昆虫や野鳥の観察の他、
Eポートでさくら湖の探検
もしました

- 7月 第1回 水質
対策検討委員会

「さくら湖のよりよい水質を目指して」
目的新たに出発→



11月 さくら湖自然
環境フォーラム
2001開催

←さくら湖に対する熱い思いを、大人
も子供も一緒に真剣に語り合いました

シリーズ All 4 職場紹介

電気通信係

電気通信係は、電気通信と機械の職種に構成されています。
水を流すバルブ、ゲート類を操作するコンピュータ類を電気通信が担当して、ダム管理に必要な設備
の維持管理に努めています。男4人だけですが、その分、仕事のしやすい(ちょっと負け惜しみ)
この係の魅力を余すことなく紹介します。

西間木係長(電気担当)



この4月から、香深き栗子よりやっ
てきた係長は、やっとの思いで三春
に来たのもつかの間、1ヶ月近く研
修で東京に行かなければなかったと
いうのは、何らかの試練でしょうか。
「ところで係長、昼休みにテニスし
ないんですか？」

佐藤技官(機械担当)



ダムの竣工当時よりいる佐藤さんは、
ダムの酸いも甘いも知っており、なか
なかのダムの学識専門員的存在です。
おかげで私は何度助けられた事が・・・
時価ウン十万する自転車で片道約20
kmを通勤していた事もある超人です。

赤石技師(機械担当)



なぜか、ここには縁がない青森から
はるばる三春ダムを完成すべくやっ
てきた赤石さんは、昼休みテニスに
バスケと積極的に参加する運動派。
4人全員メガネをしていたんですが
いつの間にかコンタクトにしました。
「裏切り者め！」

大井技官(電気担当)



佐藤さんの影響で、昼休みに筋トレす
ること早2年。よく続けられたなぁと
自分に関心している私は、去年の今頃
おもしろ半分でスキンヘッドにし、そ
れから1度も切ることなく大晦日まで
伸ばした髪は、今や見る影もありません。

果たしてこのメンバーで仕事ができるのも、あと3ヶ月足らずなのかと少しさびしく思う筆者でした。(大井)

三春ダムの近くにある福島県建設業協会田村支部に行ってお話を伺って来ました。
福島県建設業協会田村支部はどのような団体なのでしょう？

福島県田村郡の建設業を営む会社が集まり、地域へ向けて建設業のPRやイメージアップを行っている機関です。田村支部青年部には現在9社が登録しています。

「田村名水探検隊」という名前を聞いたことがあるのですが・・・？

正式名称は「田村名水玉手箱探検事業」といいます。

これは大滝根川や夏井川など、源流となるこれらの水源について調査し、ふるさとの水の大切さを21世紀に伝え、残していこうという考えで組織されました。

どんな活動をしているのですか？

文化財の保護などを行っている郷土アドバイザーの方や、ワーキンググループと呼ばれる女性の方々と一緒に現地調査へ行き、水質調査を行っています。

他にどんなPRをしていますか？

以前は3Kと呼ばれていた時代もある建設業界ですが、地域に根ざした業界でありたいと私達は考えています。そのためには地域の皆さんへのPRや、建設業界のイメージアップをこれからも続けていきたいと思っています。

イメージキャラクターの **だっちゃん** です。

地元の歴史と文化を次世代に伝えていこう！



来年3月頃には、今までの湧水の調査結果を集めた本が完成します。各町村に配布する予定ですので、興味のある方はぜひご覧になってください。



←左から事務局の小山さん、隊長の斉藤さん、副隊長の石井さん

浜口副局長が来所されました

資料館1階の
パネル展を見学
(右は伊藤所長) →



←管理所前の
展望広場にて
(右がさくらの公園、
後方奥は春田大橋)

12月7日、浜口副局長が来所され、さくら湖の水質保全状況や堆積土砂総合管理について視察されました。

いい大滝根川とは何か？

～第2回 大滝根川流域勉強会～

12月20日(木)さくら湖の水質や大滝根川流域のありかたを考える、第2回目の勉強会を開催しました。

当勉強会の目的や進め方の他、今後のテーマについて討議されました。また個々の大滝根川への想いが述べられ、第3回目の勉強会は1月18日(金)に行う事とし、第2回勉強会は幕を閉じました。



皆さんのご参加をお待ちしております

さくらの公園に冬の桜～10月桜



さくらの公園に、とても小さく
かわいらしい桜が咲いていました。

(撮影日：12/7)

ジュウガツザクラ(十月桜)

コヒガンザクラの園芸品種で、4月上旬と10～12月の2回
花が咲く。花は白色のものが多いが、淡紅色、濃紅色など
もあり、3～5個が散形状または散房状に咲く。

花は直径1.5～3.5cm。

資料館入館者数50万人も間近!

～12月のダム見学



←放流バルブや発電施設
を見学する、日本大学工
学部土木工学科の皆さん
2001.12.19(水)

1月の三春ダム資料館1Fでは、「思い出の
ふるさと展」と題して、さくら湖が出来
る前の懐かしい写真を展示しています。幻想
的な雪景色のさくら湖にぜひおいで下さい。

編集後記

21世紀初めの年だった昨年は、世界も日本も
きな臭い20世紀を引きずったような年でした。
しかし、さくら湖は平和です。冬のさくら湖は、
カモやオシドリ等、水鳥の楽園です。

今年もさくら湖管理ニュースは、世界の平和に
少しでも役立つように、元気を出して頑張ります。
よろしくお願いいたします。(加藤)



資料館へ行こう!



編集・発行 国土交通省

東北地方整備局
三春ダム管理所

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内
403-4

TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170

ホームページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>